

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 23 日現在

機関番号：34504

研究種目：基盤研究(A) (海外学術調査)

研究期間：2014～2016

課題番号：26257105

研究課題名(和文) ジェンダーの視点から見た日本・韓国・ドイツの非正規労働の比較調査研究

研究課題名(英文) The Comparative Study on the Non-standard Work in Japan, Korea and Germany from the Perspective of Gender

研究代表者

横田 伸子 (YOKOTA, Nobuko)

関西学院大学・社会学部・教授

研究者番号：60274148

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 21,000,000円

研究成果の概要(和文)：1990年代以降のグローバル化の進展とともに、日本・韓国・ドイツでは、輸出指向型製造業が競争力の中心的な位置を占める一方、国内では経済のサービス化が急速に進んだ。この過程で労働法や社会保障制度及び労働組合の保護や規制から排除され易いインフォーマルな就業や非正規雇用が増加しており、その傾向は女性に顕著である。そこで、本研究では、3国におけるサービス業、特に女性非正規労働者が多く従事するスーパーマーケットと介護労働、銀行業を取り上げ、雇用・労働条件や働き方の実態について国際比較研究の視点から分析した。さらに、彼女達の労働組合への組織化の試みや労働組合の役割についても考察した。

研究成果の概要(英文)：With the progress of globalization since the 1990s, the domestic economy has rapidly shifted to service industries in Japan, Germany and Korea, while the export-oriented manufacturing industry has remained the center of the economy's competitiveness. In this process, informal and non-standard employments, which are easily excluded from trade unions and the protection or regulation of labor law and social welfare systems, have increased. This tendency has been most noticeable among female workers in these countries. Therefore, through this international comparative study, we concern the actual situation of employment, working conditions and work in the service industries in these countries, especially in supermarkets, care giving and banking, in which many female irregular workers are working. Moreover, we examine the attempts to organize female non-standard workers and the role of their trade unions in these countries.

研究分野：ジェンダー

 キーワード：非正規労働 インフォーマルな就業 経済のサービス化 日本・韓国・ドイツの非正規労働の比較研究
女性非正規労働者

1. 研究開始当初の背景

1990年代以降、全世界的にグローバル化が急速に進展し、それに対応するため多くの国々、企業では労働市場の規制緩和政策が取られた。その結果、新興工業国、先進国を問わず、失業率が急速に高まり、失業が長期化すると同時に、労働法や社会保障制度及び労働組合の保護や規制から排除されたインフォーマルな就業や非正規雇用が増加した。その傾向は女性に顕著である。

2. 研究の目的

(1) 日本、韓国、ドイツでは、共通して輸出指向型製造業が競争力の中心的位置を占める一方、国内では経済のサービス化が急速に進んだ。そこで、サービス業、とくに女性非正規労働者が多く従事するスーパーマーケットと介護労働、銀行業を取り上げ、雇用・労働条件や働き方の実態について、国際比較研究の視点から考察することを本研究の目的とした。

(2) (1)と関連して、女性非正規労働者を組織化する労働組合の試みや、その役割についても日本・韓国・ドイツの3国を比較することでより鮮明に浮き彫りにしようとした。

3. 研究の方法

(1) 主に先行研究や文献資料の渉猟を通じた文献研究

(2) 政府統計データやそのraw dataを用いたマクロ統計の計量分析

(3) スーパーマーケット、介護事業所、銀行業における労働者、労働組合、人事管理担当者及び、政府の労働政策・社会政策担当者、政府のシンクタンク組織の研究者に対するインタビュー調査を通じたケーススタディ

4. 研究成果

(1) 法・制度や労働組合の保護や規制から排除されていたり、あるいはそれらに包摂されている就業をインフォーマリティ/フォーマリティというスペクトラムの中に位置づけ、日本、韓国、ドイツの就業体制を比較分析した。これまで、統一的な基準でもって就業体制を国際比較した研究はほとんど見当たらず、本研究は、3国における様々な雇用形態を1つの共通した基準でもって、それぞれの位置づけ、意味づけを行った点で独創的である。

(2) 日本・韓国・ドイツの地域研究者がスーパーマーケット、介護現場、銀行におけるフィールド調査を共に行い、これらのケーススタディを通して、3国の非正規労働者の雇用・労働条件や働き方の実態を鮮明に浮き彫りにすることができた。これまで、非正規労働の国際比較はマクロ統計資料の計量分析によるところがほとんどであったが、本研究

では非正規労働者の具体的な姿を明らかにできた点においても貴重である。

(3) 日本と韓国における、正規・非正規労働者間のジェンダー構造についてはこれまで多く言及されてきたが、本研究では、ドイツも含めて、3国の非正規労働者内のジェンダー構造を明らかにした点が重要である。とくに、韓国においては一口に非正規労働者といっても、女性非正規労働者が男性非正規労働者よりも法・制度や労働組合から排除されている度合いが圧倒的に強く、ジェンダー構造が顕著であることがわかった。

(4) 定着性に恵まれず、孤立し分散して存在する労働者の組織化には、コミュニティ・ユニオンのように、働く人なら誰でもどこでも一人でも加入できる個人加盟ユニオンといった組織化の方法が有効であることがわかった。それだけでなく、労働者協同組合や社会的協同組合といった協同組合や、社会的企業による未組織労働者の組織化が日本と韓国で着実に進んでいることが明らかにされた。

(5) 労働基準法を始めとする労働法や、あらゆる社会保障制度から排除され、労働者性も認められないもっともインフォーマル(informal)な性格の強い労働者には、3国に共通して外国人労働者が多いことがわかった。とくに、これらの労働者は低賃金、長時間労働及び劣悪な労働環境下で働かなければならない、もっとも脆弱な(=precarious)労働者であり、彼女ら、彼らを組織する団体も少なく力も弱い。ここに、国際比較の基準である informality/ formality という概念と、その実態的な表現形態である precarious 概念との関係性、相関性が明らかになった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 5件)

三山雅子、構造改革・安倍女性活躍政策と雇用構造、日本労働社会学会年報、査読無、27号、2016、pp.57-79

小谷幸、介護職の確保と定着に向けた処遇改善をめぐる一考察 接客サービスの労働過程とコミュニティ・オーガナイズングの視点から、月刊ケアリング、査読無、18巻、2016、pp.78-84

田中洋子、ドイツにおける労働への社会的規制 雇用の規制と二重共同決定制度、社会政策、査読有、第7巻第1号、2015、pp.28-47

朴昌明、通貨危機以前の韓国における銀行業の女性労働、駿河大学論叢、査読無、第

Nobuko Yokota, A New Attempt at Organizing Irregular Workers in Korea: Examining the Activities of the Korean Women's Trade Union, Korean Journal of Sociology, 査読有, Vol.48 No.6, 2014, pp.73-93.

〔学会発表〕(計17件)

田中洋子, 日本のパート・ドイツのパート、第133回社会政策学会大会、2016年10月16日、同志社大学(京都府京都市)

Yoko Tanaka, Service Industry and the Female Work in Global Historical Perspective, Re-work International Symposium: Precarious Female work in Service Sector in International Comparison, 2016年3月3日, Humboldt-Universität (Berlin, Germany)

Masako Mitsuyama, Structure, Reform, Employment and Gender: The Case of Japanese Supermarkets, Re-work International Symposium: Precarious Female work in Service Sector in International Comparison, 2016年3月3日, Humboldt-Universität (Berlin, Germany)

Sachi Kotani, Japanese Home Care Worker's Characteristic: Special Focus on Strategies to Improve Their Employment Status, Re-work International Symposium: Precarious Female work in Service Sector in International Comparison, 2016年3月3日, Humboldt-Universität (Berlin, Germany)

Chang-Myeoung Park, Female Non-regular Employment in Korea's Banking Sector, Re-work International Symposium: Precarious Female work in Service Sector in International Comparison, 2016年3月3日, Humboldt-Universität (Berlin, Germany)

Yoko Tanaka, How Working Conditions of Female Irregular Workers in the Service Industries in Germany are Regulated in Workplace?, Labor and Employment Association American Social Alliance, 2016年1月4日, Hilton Hotel (San Francisco, USA)

Masako Mitsuyama, Work Style and Employment Structure: The Case of Japanese Supermarkets, Labor and Employment Association American Social Alliance, 2016年1月4日, Hilton Hotel (San

Francisco, USA)

Sachi Kotani, Japanese Home Care Workers' Characteristics: Special Focus on Strategies to Improve Their Employment Status, Labor and Employment Association American Social Alliance, 2016年1月4日, Hilton Hotel (San Francisco, USA)

三山雅子, 構造改革・安倍女性活躍政策と雇用形態・ジェンダー、労働社会学会第27回大会、2015年11月8日、大阪市立大学(大阪府大阪市)

横田伸子, 韓国におけるケアワーカーの労働の実態と組織化の新たな試み 韓国女性労働者会によるケアワーカー協同組合協議会の事例から、第131回社会政策学会大会、2015年11月1日、西南学院大学(福岡県福岡市)

田中洋子, ドイツのスーパーマーケットにおける働き方と雇用構造、第131回社会政策学会大会、2015年11月1日、西南学院大学(福岡県福岡市)

三山雅子, 日本のスーパーマーケットにおける働き方と雇用構造、第131回社会政策学会大会、2015年11月1日、西南学院大学(福岡県福岡市)

小谷幸, 日本の介護労働者の実態と組織化、第131回社会政策学会大会、2015年11月1日、西南学院大学(福岡県福岡市)

Yoko Tanaka, Frauen zwischen Arbeits- und Familienzeit in Deutschland und Japan, Familien politik in Japan und Deutschland zwischen Womenomics und Doing Family. Dialogveranstaltung und Wissenschaftliches Symposium, 2015年1月9日 Haus der Universität Schadowplatz 1440214 (Duseldorf, Germany)

Nobuko Yokota, A New Attempt Organizing Irregular Workers in Korea: Examining the Activities of the Korean Women's Trade Union, XV ISA World Congress of Sociology, 2014年7月18日, Pacifico Yokohama (Yokohama, Japan)

三山雅子, 自由であることを禁ず: シングルマザー・労働・貧困、女性労働問題研究会、2014年6月28日、中央大学後楽園キャンパス(東京都文京区)

Sachi Kotani, The Characteristics of Individually-Affiliated Unions in Japan: Toward the Comparison with Community Organizations in the United States, Spring Colloquium Series,

Institute for Research on Labor and Employment,
2014年4月10日, Institute for Research on
Labor and Employment, UC Berkeley (Berkeley,
USA)

〔図書〕(計 0件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

横田 伸子 (YOKOTA, Nobuko)
関西学院大学・社会学部・教授
研究者番号： 60274148

(2) 研究分担者

田中 洋子 (TANAKA, Yoko)
筑波大学・人文科学系・教授
研究者番号： 90202176

三山 雅子 (MITSUYAMA, Masako)
同志社大学・社会学部・教授
研究者番号： 90278458

朴 昌明 (PARK, Chang- Myeoung)
駿河台大学・法学部・教授
研究者番号： 00406539

小谷 幸 (KOTANI, Sachi)
日本大学・生産工学部・准教授
研究者番号： 30453872

服部良子 (HATTORI, Ryoko)
大阪市立大学・大学院生活科学研究科・准
教授

研究者番号： 10183089
(平成27年度より連携研究者)

(4) 研究協力者

張 芝延 (CHANG, Jiyoeng)
韓国労働研究院・研究委員長

Hartmut Seifert (Seifert, Hartmut)
ドイツハンスベックラー財団経済研究
所・顧問

Uta Meier-Gräwe (Meier-Gräwe, Uta)
ドイツゲーセン大学校・家政大学・教授